

令和8年度

大 学 院 教 育 学 研 究 科
修士課程 教育支援高度化専攻
2 月 下 旬 試 験

学 生 募 集 要 項

	2 月 下 旬 試 験
出願受付期間	令和8年2月9日(月) ~2月13日(金)
試 験 日	令和8年2月28日(土)
合格者発表日	令和8年3月6日(金)
入 学 手 続 日	令和8年3月25日(水) ~3月26日(木)

愛 知 教 育 大 学

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

入試課 電 話 (0566) 26 -2203〔入学試験関連〕

FAX (0566) 26 -2200

メール nyushi-madoguchi@aecc.aichi-edu.ac.jp

教務企画課 電 話 (0566) 26 -2697〔大学院関連〕

メール support_ml@m.aecc.aichi-edu.ac.jp

Webサイト <https://www.aichi-edu.ac.jp/>

愛知教育大学大学院 教育学研究科のアドミッション・ポリシー

愛知教育大学は、広域の拠点的作用を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

「教育支援高度化専攻」では、教育支援・教育協働という営みの重要性の認識に立って、「チームとしての学校」体制を推進できる人材の育成を目指します。本専攻では、学士課程や教育現場等で培った能力に加え、教育を支える専門職、研究者及びアジアを中心とする外国人で帰国後指導者として活躍することへの強い志を持った、次のような人を求めています。

◎子どもの成長に関われることに喜びを感じ、教育を支える専門職、研究者として教育の場を中心に先導的役割を担う意欲を持つ人

◎教育に関する基本的な知識・技能を有し、さらに深く学び研究する意欲を持つ人

入学者選抜の基本方針

教育支援高度化専攻におけるアドミッション・ポリシーに沿って、小論文等の筆記試験、口述試験及び出願書類等を総合的に評価して、高い意欲及び資質と能力に優れた人を選抜します。

※昨年度まで「第3次募集」と表記していた募集区分について、今年度から入学試験実施月を基にした表記（「2月下旬試験」）となりました。

目 次

臨床心理学コース・教育ガバナンスキャリアコース ……Ⅰ

日本型教育グローバルコース ……Ⅱ5
(JAPANESE-STYLE EDUCATION COURSE)

○教育・学習データ利活用について

本学では、「国立大学法人愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、日々の教育や学習に関するデータを取得し、そのデータを安全な方法で保持・分析を行い、客観的データに基づいて教育改善や学生等の学習支援を図るとともに、データ利活用から得られた成果を公開し、広く社会に還元することに取り組んでいます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学後、教育・学習データとして取り扱います。

【参考】「国立大学法人愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」

<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/708.html>



○個人情報の取り扱いについて

①本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」等本学の関係規定に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。

②本学では、出願時に提出された個人情報（住所・氏名・生年月日等）及び入学試験成績情報は、入学選抜に関する業務、入学後の奨学制度申請、修学支援業務及びこれらに付随する業務並びに「国立大学法人愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」に基づくデータに利用します。

【参考】「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」

<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/82.html>



修士課程 教育支援高度化専攻

臨床心理学コース

教育ガバナンスキャリアコース

目 次

1 募集人員	3
2 出願資格	3
3 標準修業年限	4
4 履修相談カウンセリング.....	4
5 出願期間.....	4
6 出願手続.....	5
7 受験票の交付	7
8 選抜方法.....	8
9 合格者発表	9
10 入学手続.....	10
11 障害等のある入学志願者との事前相談.....	10
12 授業の実施方法	11
13 過去の入試問題の閲覧, 入試結果について	11
14 入試情報の開示	11
15 臨床心理士の受験資格取得希望者へ	12
16 公認心理師の受験資格取得希望者へ	12
17 安全保障輸出管理について	12
入学資格の事前審査について	13

1. 募集人員

課程	専攻	コース	募集人員
			2月下旬試験
修士課程	高度化専攻 教育支援	臨床心理学コース	若干名(注1, 2)
		教育ガバナンスキャリアコース	若干名(注1, 2)
		日本型教育グローバルコース	(注1, 2, 3)

(注1) 教育支援高度化専攻の募集人員は、9月試験・10月試験(臨床心理学コース, 日本型教育グローバルコースを除く)・2月上旬試験・2月下旬試験を合わせて30名とします。

(注2) 教育支援高度化専攻の2月下旬試験の募集人員は、2月上旬試験と合わせて若干名とします。

なお、2月上旬試験で上記人員に達した場合、2月下旬試験の合格者は補欠合格とします。

(注3) 日本型教育グローバルコースの募集人員については、17ページを参照してください。

2. 出願資格

以下①～⑩の各号のいずれかに該当する者。

- ① 大学を卒業した者、又は令和8年3月卒業見込みの者
- ② 令和8年3月までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院が所定の単位を優れた成績で修得したものと認めた者(→13ページ参照)
- ③ 学校教育法第104条第7項の規定により、学士の学位を授与された者、又は令和8年3月までに授与される見込みの者
- ④ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は令和8年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は令和8年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けされた教育施設にあって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は令和8年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者、又は修了見込みの者(平成17年文部科学省告示第169号参照)
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者(大学院への飛び入学者)であって、当該者をその後に入学させる大学院が、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者、又はそれに準ずる者(学校教育法施行規則第155条第7項)
- ⑩ 本学大学院が個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに22歳に達する者(→14ページ参照)

(注1) 基礎資格⑧「文部科学大臣の指定した者」(昭和28年文部省告示第5号)のうち、同告示第10号、第11号及び第12号による者とは、次の者を指します。

告示第10号 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者

告示第11号 旧国立養護教諭養成所設置法(昭和40年法律第16号)による国立養護教諭養成所を卒業した者で、教育職員免許法による中学校教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者

告示第12号 旧国立工業教員養成所の設置等に関する臨時措置法(昭和36年法律第87号)による国立工業教員養成所を卒業した者で、教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び3年以上教諭として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する者

(注2) 基礎資格②又は⑩により出願する者は、入学資格の事前審査を行います。

13ページ及び14ページの詳細を参照してください。

3. 標準修業年限

2年

★「長期にわたる教育課程の履修（長期履修学生制度）」について

この制度は、職業を有している者や、育児・介護等の事情により、所定の修業年限（2年）での修了が困難である場合に、原則2年分の授業料で長期間（4年以内の許可された年限）の履修を可能とするために設けられた、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第15条の定めによるものです。

年額の授業料算出は、次のとおりとなります。

定められた金額 × 標準修業年限（2年） ÷ 許可された修業年限

詳細は、合格者に送付する入学手続要項に記載します。

4. 履修相談カウンセリング

教育ガバナンスキャリアコースへの出願希望者は出願前に個別に、「履修相談カウンセリング」を必ず受けてください。このカウンセリングを受けない場合は、出願書類を受理できません。

（申出先）愛知教育大学 教務企画課 大学院係

TEL:0566-26-2697

E-mail:support_ml@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

5. 出願期間

2月下旬試験	令和8年2月9日（月）～2月13日（金）
--------	----------------------

なお、出願書類の提出は簡易書留郵便に限ります。最終日の17時までに入試課に必着するように注意してください。ただし、令和8年2月11日（水）以前の郵便局受付印（消印）がある「簡易書留」郵便に限り、出願期間後に到着したものでも受理します。

6. 出願手続

角形2号の封筒に必要事項を記入した送付票を貼り付け、次の出願書類を一括して簡易書留郵便で送付してください。

(1) 出願書類

所定様式は本学Webサイトに掲載しているものをダウンロードし使用してください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/graduate/info/education/kyosyoku-yoko-latefeb.html>



名 称	該 当 者	摘 要
① 入学志願票 ・受験票 〔所定様式〕	全員	本学所定の様式に必要事項をもれなく記入すること。 志願票及び受験票の所定枠に同一顔写真を剥がれないように貼り付けること。
② 大学の卒業 (見込み)証明書	全員	概ね1年以内に発行された原本に限る。 <u>コピー不可</u> 。 <u>婚姻等の事情により証明書と姓が異なる場合は、戸籍抄本を併せて提出すること。</u> 日本国外の大学を卒業した者で、原本を提出できない者は、公的証明機関が証明した「写」を提出すること。公的証明機関の証明のない「写」の場合は、出願を受理しない。 <u>中国(台湾、香港、マカオを除く。)の大学等を卒業(見込み)の者は、各地「公証処」の発行する公証書(日本語訳含む)を必ず提出すること。</u>
日本語訳	国外の大学 を卒業(見込み)の者	外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付すること。
③ 大学の成績 証明書	全員	概ね1年以内に発行された原本に限る。 <u>コピー不可</u> 。 出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封されたものを提出すること。ただし、証明書自動発行機などで発行されたもので、複写防止用紙で作成された成績証明書は厳封する必要はないものとする。 編入学等により最終学歴の証明に認定となっている場合は、編入前の大学の成績証明書も併せて提出すること。 日本国外の大学を卒業した者で、原本を提出できない者は、公的証明機関が証明した「写」を提出すること。公的証明機関の証明のない「写」の場合は、出願を受理しない。 <u>婚姻等の事情により証明書と姓が異なる場合は、戸籍抄本を併せて提出すること。</u> <u>中国(台湾、香港、マカオを除く。)の大学等を卒業(見込み)の者は、各地「公証処」の発行する公証書(日本語訳含む)を必ず提出すること。</u>
日本語訳	国外の大学 を卒業(見込み)の者	外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付すること。
④ 入学検定料 受付証明書 貼付票 ・写真票 〔所定様式〕	全員	※入学検定料(30,000円) 本学所定の様式に必要事項を記載し、出願期間最終日までに検定料を払い込み、切り離さずに提出すること。 写真票には、志願票及び受験票と同一の顔写真を剥がれないように貼り付けること。
⑤ 教育委員会等 派遣通知書 〔所定様式〕	右記対象者	〔教育ガバナンスキャリアコースの『教育委員会等派遣自治体職員』選拔出願者のみ〕 原則、本学所定の様式を使用し、受験者の所属、職名、氏名を明記し、自治体の長等の公印を押印の上、提出すること。
⑥ 推薦書C 〔所定様式〕	右記対象者	〔教育ガバナンスキャリアコースの『自治体・学校推薦による現職自治体・学校事務職員、他教職員』選拔出願者のみ〕 本学所定の様式を使用すること。
⑦ 入学後の研究 計画の概要 〔所定様式〕	全員	本学所定の様式を使用し作成すること。
⑧ これまでの 研究活動や 社会的活動等の 報告書 〔所定様式〕	右記選拔出 願者を除く 全員	本学所定の様式を使用し作成すること。 <u>出願提出書類は一切返還しないので注意すること。</u> 〔教育ガバナンスキャリアコースの『教育委員会等派遣自治体職員』選拔出願者は提出不要です。〕

⑨	志望動機書 〔所定様式〕	全員	<p>本学所定の様式を使用し作成すること。</p> <p>臨床心理学コースについては<u>手書き</u>で、教育ガバナンスキャリアコースについてはパソコン等で記入し、1,200字程度にまとめること。</p> <p><u>出願提出書類は一切返還しないので注意すること。</u></p>
⑩	受験票送付用 封筒	全員	<p>長形3号の封筒を用意し、郵便番号・住所・氏名を記入し、410円分の切手（定形郵便物送料＋速達料金）を貼り付けること。（※国内発送に限る。ただし、送料の改定等で不足が生じた場合は、不足分受取人払いで送付する。）</p>
⑪	宛名票 〔所定様式〕	全員	<p>本学所定の様式に、受験案内及び合格通知書等の受け取り先の郵便番号・住所・氏名を明記すること。（※国内発送に限る。）</p>
⑫	事前審査結果 通知書	「2.出願資格 ②・⑩」で 出願する者	<p>入学資格事前審査の申請期限までに必要書類を郵送し、審査を受けること。審査後本学より事前審査結果通知書を送付するので、出願時に事前審査結果通知書の本紙（コピー不可）を提出すること。詳細は13～14ページを参照すること。</p>
⑬	送付票 〔所定様式〕	全員	<p>必要事項を記入し、出願書類一式を封入した封筒に貼り付けること。</p>
⑭	その他	該当者	<p>枠外【補足説明】を参照すること。</p>

【補足説明】

「⑭その他」書類について

- (1) (ア)「2.出願資格」の③で出願しようとする者のうち、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科の修了見込み者で、学士の学位の授与を申請する予定の者は、次の証明書を提出してください。

・修了見込証明書

・学士の学位の授与を申請する予定である旨の所属長の作成した証明書

- (イ)「2.出願資格」の⑧「文部科学大臣の指定した者」（昭和28年文部省告示第5号）のうち、同告示第10号、第11号及び第12号による者は、その該当する各号により必要とする次の証明書を提出してください。

・教育職員免許状授与証明書又は所属長により原本証明された免許状の写し（告示第10、11、12号）

・良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明書（告示第12号）

- (2) 出願先 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学 入試課

- (3) その他

(ア)出願書類は、出願期間内に必着するように注意してください。ただし、令和8年2月11日（水）以前の郵便局受付印（消印）がある「簡易書留」郵便に限り、出願期間後に到着したものでも受理しますが、それ以外の期間後に到着したものはいかなる理由でも受理しません。

(イ)出願書類提出後は記入事項の変更を認めません。また、一度受理した出願書類は返還しません。

(ウ)学校、官公署民間会社その他に在職中の者で現職のまま本学大学院に入学をしようとする者は、出願時にその旨について、所属長の承諾を得てください。また、志願票に承諾の有無を記入してください。（入学手続時に所属長の「入学に関する承諾書」が必要となります。）

(エ)提出書類に不備がある場合、出願を受理しないことがあります。

(4) 入学検定料の返還について

払い込まれた検定料は、次の場合を除き返還できません。

- (ア) 出願書類を提出しなかった場合
- (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- (ウ) 出願書類が受理されなかった場合

*検定料の返還請求方法

適宜の用紙(便箋等)に次の1~7を明記した「検定料返還請求書」を作成し、「振替払込請求書兼受領証」(ATMでの払込みの場合は「利用明細票」)を添付して、令和8年2月27日(金)〔必着〕までに愛知教育大学入試課(〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1)へ郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

大学院入学検定料返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 試験区分(教育学研究科教育支援高度化専攻〇〇コース)
- 3 氏名(フリガナ)
- 4 現住所
- 5 連絡先電話番号
- 6 返還請求額
- 7 返還金振込先
 - ・金融機関名(可能な限り、ゆうちょ銀行以外の金融機関)、支店名
 - ・預金種別(当座・普通)、口座番号
 - ・口座名義人(フリガナ)
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

7. 受験票の交付

受験票は、受験案内を同封して試験日の約1週間前に本学より発送します。

8. 選抜方法

入学者の選抜は、本学が行う筆記試験、口述試験及び出願時に提出された研究計画の概要等を総合して行います。なお、受験科目ごとの得点のいずれか及び総合点が本学の定める基準に達していない場合は、不合格とします。

(1) 入学試験期日・時間割

※災害等により入学試験の日時を変更する場合は、本学Webサイトにて詳細を公表します。

コース	試験区分	試験日	試験時間	試験科目	備考
臨床心理学		令和8年 2月28日(土)	9:30～ 10:30 [60分]	学力検査	英語
			11:00～ 12:30 [90分]	学力検査	臨床心理学・教育心理学(公認心理師カリキュラム関連を含む)
			14:00～	口述試験	※1
教育ガバナンスキャリア	教育委員会等 派遣自治体職員	令和8年 2月28日(土)	14:00～	口述試験	※1
	現職自治体・学校事務職員， 他教職員(自治体・学校推薦)	令和8年 2月28日(土)	14:00～	口述試験	※1
	学部卒業見込者， 学部卒業者，社会人， 現職自治体・学校事務職員， 他教職員(推薦以外)	令和8年 2月28日(土)	11:30～ 12:30 [60分]	小論文	
			14:00～	口述試験	※1

※1 志願者数によっては、試験開始時間の前倒し等、試験時間を変更することがあります。

(2) 試験会場 愛知教育大学 (詳細は受験案内で通知します)

(3) 試験科目等の概要

【コース共通】

入学後の研究計画の概要

活動報告書 (教育ガバナンスキャリアコースの「教育委員会等派遣自治体職員」選抜を除く)

【臨床心理学コース】

筆記試験 専門に関する試験：英語(試験時間60分)、臨床心理学・教育心理学(公認心理師カリキュラム関連を含む)(試験時間90分)より出題します。

※ 学力検査(英語)の受験にあたっては、辞書(各自で用意、大学では貸与不可)の使用を可としますが、電子辞書の使用は不可とします。なお、辞書とは翻訳等に関するもの(例：英和辞典、和英辞典)であり、用語事典等は使用を認めません。

口述試験 口述試験には専門的な内容も含まれます。

【教育ガバナンスキャリアコース】

筆記試験 小論文：試験時間60分。専門的な内容も含まれます。

口述試験 事前提出書類に基づく口述試験

(4) 配点

コース	選抜方法	事前提出書類		口述試験	筆記試験	総点
		活動報告書	入学後の研究計画の概要			
臨床心理学		100点	100点	400点	400点 (専門に関する試験)	1,000点
教育ガバナンスキャリア	教育委員会等 派遣自治体職員		600点	400点		1,000点
	現職自治体・学校 事務職員, 他教職員 (自治体・学校推薦)	400点	200点	400点		1,000点
	学部卒業見込者, 学部卒業者, 社会人, 現職自治体・学校事務 職員, 他教職員 (推薦以外)	200点	200点	400点	200点 (小論文)	1,000点

9. 合格者発表

日 時 令和8年3月6日(金) 10:00

発表方法 合格者の受験番号を, 愛知教育大学Webサイトに掲載します。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/entrance/grad.html>

※Webサイトのメンテナンスの都合上, 10:00を過ぎることがあります。

合格者には, 合格通知書と入学手続関係書類を併せて即日発送します。

電話その他による合否の照会には一切応じません。



10. 入学手続

(1) 入学手続期間

試験時期	日 時	場 所
2月下旬試験	令和8年3月25日(水)～3月26日(木) 9:00～16:00(ただし、12:00～13:00を除く)	愛知教育大学

※ 郵送にて手続の場合(簡易書留郵便), 令和8年3月25日(水)までに学生支援課へ必着。
なお, 上記期間内に手続をしなかった場合は, 入学する意思がないものとして取り扱います。

(2) 納入金(入学料・入学時諸費用・授業料)

納入金については, 合格者宛てに送付する「入学手続要項」にて案内します。入学料, 入学時諸費用及び授業料は大学指定の払込書にて納入してください。

入 学 料	282,000円
入学時諸費用	32,430円(予定)
授 業 料	半期分 267,900円 (年額 535,800円)

なお, 入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には, 改定時から新入学料, 新入学時諸費用及び新授業料を適用します。

(注1) 入学料及び入学時諸費用は, 入学手続時までに必ず納入してください。

(注2) 入学時諸費用は, 通学中や実習などの活動中の事故等に係る保険料, 教育研究活動, 大学行事, 就職, 課外活動及び福利厚生への支援など様々な学生支援事業のための費用で, 入学時のみの費用です。

(注3) 授業料の納入については, 入学手続要項において納入方法を指示します。

(注4) 入学手続完了者が, その後入学を辞退しても, 納入済の入学料は返還しません。

(注5) 入学料・授業料の免除及び経済的支援については下記の愛知教育大学Webサイトを参照してください。

【経済支援制度について】

https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/info/to_everybody.html



11. 障害等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で, 身体の障害等の理由により, 受験上及び修学上の配慮を必要とする者若しくは不安を感じる者は, 相談締切日までに必ず本学と相談してください。

必要な場合は, 本学において志願者との面談を行います。

相談内容によっては, 対応に時間を要することもありますので出願前の早い時期に申し出てください。

なお, この事前相談により, 合否判定の際に不利にはなりません。

1) 相談締切日 令和8年2月6日(金)

2) 相談申込み方法

「入学試験受験上の配慮申請書」により申込みをしてください。

(本学指定様式によるものとします。様式については, 下記問い合わせ先に連絡の上, 請求してください。)

3) 提出書類

(1) 入学試験受験上の配慮申請書(本学指定様式)

(2) 医師の診断書(コピー可)

4) 問い合わせ先

愛知教育大学入試課

TEL: 0566-26-2203

E-mail: nyushi-madoguchi@aecc.aichi-edu.ac.jp



12. 授業の実施方法

(1)「臨床心理学コース」の学生の履修方法

臨床心理学コースの学生は全員「昼間開講コース」になります。「昼間開講コース」の学生は原則として、月～金曜日の昼間に開講される授業及び夏季休業等の長期休業期間に集中講義で開講される授業、学校における研修(実習)を履修します。

また、これらの他に夜間及び土・日・祝日に開講される授業も履修することができます。

昼間開講時間

第1時限 (9:10 ~ 10:40)

第2時限 (10:50 ~ 12:20)

第3時限 (13:20 ~ 14:50)

第4時限 (15:00 ~ 16:30)

第5時限 (16:40 ~ 18:10)

(2)「教育ガバナンスキャリアコース」の学生の履修方法(主として夜間、土・日曜日に履修)

教育ガバナンスキャリアコースの学生は全員「昼夜開講コース」になります。「昼夜開講コース」の学生は原則として、平日の昼夜開講授業、土日及び長期休業期間に実施される集中講義で履修します。

また、これらの他に、月～金曜日の昼間に開講される授業も履修することができます。

①夜間開講時間

第6時限 (18:20 ~ 19:50)

第7時限 (20:00 ~ 21:30)

②昼間開講時間

第1時限 (9:10 ~ 10:40)

第2時限 (10:50 ~ 12:20)

第3時限 (13:20 ~ 14:50)

第4時限 (15:00 ~ 16:30)

第5時限 (16:40 ~ 18:10)

13. 過去の入試問題の閲覧, 入試結果について

愛知教育大学入試課窓口では過去2年間の入試問題を閲覧することができます。(附属図書館では公開していません。)また、本学Webサイトにて、過去1年間の入試問題及び入試結果(志願者数ほか)を閲覧することができます。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/entrance/grad.html>



14. 入試情報の開示

入学試験の受験者に係る個人情報を、受験者本人から請求があった場合に限り開示します。

開示を希望する方は、下記の愛知教育大学Webサイトを参照してください。

【個人情報の開示・訂正・利用停止請求 <手続方法>】

<https://www.aichi-edu.ac.jp/policy/procedure.html>



15. 臨床心理士の受験資格取得希望者へ

臨床心理学コースは、財団法人：日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士養成指定大学院（第1種）です。1・2年次にわたって指定された科目を履修し、同専攻を修了した者には、臨床心理士の受験資格が与えられます。（受験資格取得を証明します。）

なお、必修科目として、臨床心理基礎実習及び臨床心理実習が含まれているので、同資格取得を希望する者は、昼間に実習があることに留意してください。上記、臨床心理実習には学外の病院実習が含まれております。実習先によっては、納入した授業料の他に実習費等を自己負担していただく場合がございますので予めご了解ください。

16. 公認心理師の受験資格取得希望者へ

臨床心理学コースは、公認心理師法第7条第1号及び第2号に規定されている「心理学その他の公認心理師となるために必要な科目」に対応する、大学院における必要な科目（29文科初第879号「公認心理師法第7条第1号及び第2号に規定する公認心理師となるために必要な科目の確認について」における別表2の10科目）を、平成31年度より開講しています。ただし、公認心理師法附則第2条第1項第3号の特例措置による公認心理師試験の受験を検討している志願者については、厚生労働省の「公認心理師試験の受験を検討されている皆さまへ」より資格取得方法を確認の上、出願するようにしてください。

(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_26518.html)



なお、必修科目として、心理実践実習が含まれているので、同資格取得を希望する者は、昼間に実習が実施されることに留意してください。

上記、心理実践実習には学外での実習が含まれております。実習先によっては、納入した授業料の他に実習費等を自己負担していただく場合がございますので予めご了解ください。

17. 安全保障輸出管理について

愛知教育大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入に際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】

愛知教育大学Webサイト「国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程」

https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/kitei_230308.pdf



経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>



3ページ 2② による入学資格の事前審査について

本出願資格による志願者は、下記2の要件を満たす見込みについて事前審査を行いますので、下記3の審査書類を入試課へ郵送してください。

1 申請期限

令和8年2月3日(火)まで

2 審査要件

令和8年3月までに「大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者」とは、次の条件を満たす者とします。

(1) 大学の3年次終了時点、又は教育制度が16年の課程を有している外国において学校教育の15年の課程を修了した時点で、次の条件を全て満たす見込みであること。

① 在学期間について

休学期間を除き、大学在学期間が3年以上であること又は外国において学校教育の15年の課程以上の在学期間を有していること。

② 修得単位数について

当該期間において、修得する必要がある全ての科目を含め、卒業要件単位数の80%以上を修得していること。

③ 学業成績について

上記に定める修得単位数において、修得単位数の90%以上が最高評価(点数評価の場合は85点以上)を得ること。

(2) 教育制度が15年の課程を有している外国における学校教育の課程修了者については、修得単位数の90%以上が最高評価(点数評価の場合は85点以上)を得ること。

3 事前審査提出書類

【大学に3年以上在学した者】

- | | |
|--|----|
| (1)入学試験出願資格事前審査申請書(本学所定の様式)・・・資格審査① | 1部 |
| (2)在学証明書
(なお、3年次終了後に在学期間証明書及び退学許可書の提出が必要となります) | 1部 |
| (3)履修の手引き等の教授要目 | 1部 |
| (4)2年次までの成績証明書及び3年次の履修状況表
(なお、3年次終了後に3年次までの成績証明書の提出が必要となります) | 1部 |
| (5)推薦書(入学試験出願資格事前審査申請用(本学所定の様式))・・・資格審査① | 1部 |
| (6)返信用封筒(事前審査の結果を通知するので、定形[長形3号]封筒に、
受験を希望する者の郵便番号、住所、氏名を明記し、410円分(※)の切手を貼ったもの) | 1部 |
- ※定形郵便物送料+速達料金(ただし、送料の改定等により不足が生じた場合は、不足分受取人払いで送付します。)

なお、必要に応じて各種証明書等の追加提出を求めることがあります。

【外国において学校教育における15年の課程を修了した者】

提出書類の詳細については、入試課にお問い合わせください。

4 その他

- (1)事前審査の結果については、出願期間開始日までに本人宛てに通知します。
なお、出願資格を認められた者が受験を希望する場合は、5ページの「6.出願手続(1)出願書類」を出願期間内に提出してください。
- (2)本出願資格により入学試験を受験し、合格と判定された者が、令和8年3月までに、前記2の要件を満たさない場合は、入学を許可しません。
- (3)本出願資格により入学する者は、在籍している大学の学部を退学することとなります。
したがって、教員免許状(専修免許状)の取得が困難になる場合があること及び国家試験等の受験資格で大学を卒業することが条件となっているものについては、受験資格を失うことに注意してください。

3ページ 2⑩ による入学資格の事前審査について

本出願資格による志願者は、入学資格の可否の事前審査を行いますので、下記2の審査書類を入試課へ郵送してください。

1 申請期限

令和8年2月3日(火)まで

2 事前審査提出書類

- | | |
|---|----|
| (1) 入学資格審査申請書(本学所定の様式)・・・資格審査② | 1部 |
| (2) 履歴書(本学所定の様式)・・・資格審査② | 1部 |
| (3) 最終学歴の卒業証明書※ | 1部 |
| (4) 最終学歴の成績証明書※ | 1部 |
| (5) 学習歴, 実務・活動経験歴, 資格等を証明するもの | 1部 |
| (6) 返信用封筒(事前審査の結果を通知するので, 定形〔長形3号〕
封筒に, 受験を希望する者の郵便番号, 住所, 氏名を明記し,
410円分(※)の切手を貼ったもの) | 1部 |

※定形郵便物送料+速達料金(ただし, 送料の改定等により不足が生じた場合は, 不足分受取人払いで送付します。)

なお, 必要に応じて各種証明書等の追加提出を求めることがあります。

※ 婚姻等の事情により証明書と姓が異なる場合は, 戸籍抄本を併せて提出してください。

3 その他

- (1) 事前審査の結果については, 出願期間開始日までに本人宛てに通知します。

なお, 入学資格を認められた者が受験を希望する場合は, 5ページの「6.出願手続 (1)出願書類」を出願期間内に提出してください。(各種証明書等は再度提出していただきますのでご承知おきください。)

- (2) 入学資格の事前審査は, 毎試験行います。よって, 過去の試験において事前審査を受けた者も再度書類を提出し, 事前審査を受けてください。

修士課程 教育支援高度化専攻
日本型教育グローバルコース
(日本語)

目 次

1 募集人員	17
2 出願資格	17
3 標準修業年限	17
4 出願期間.....	17
5 出願手続.....	18
6 受験票の交付	19
7 選抜方法.....	20
8 合格者発表	21
9 入学手続.....	21
10 過去の入試問題の閲覧, 入試結果について.....	22
11 入試情報の開示	22
12 安全保障輸出管理.....	22
入学資格の事前審査について	23

1. 募集人員

専攻	コース	選抜の種類	募集人員
			2月下旬試験
教育支援 高度化専攻	臨床心理学コース		(注1, 3, 4)
	教育ガバナンスキャリア コース		(注1, 3, 4)
	日本型教育 グローバルコース	一般選抜	若干名 (注2, 3, 4)
		交流協定締結校 特別選抜	

(注1) 臨床心理学コース, 教育ガバナンスキャリアコースの募集人員については, 3 ページを参照してください。

(注2) 日本型教育グローバルコースは次年度に実施される秋季入学の募集人員を含みます。

(注3) 教育支援高度化専攻の募集人員は, 9 月試験・10月試験(臨床心理学コース, 日本型教育グローバルコースを除く)・2月上旬試験・2月下旬試験を合わせて30名とします。

(注4) 教育支援高度化専攻の2月下旬試験の募集人員は, 2月上旬試験と合わせて若干名とします。

なお, 2月上旬試験で上記人員に達した場合, 2月下旬試験の合格者は補欠合格とします。

2. 出願資格

(1) 一般

外国籍を持ち, 次の各号のいずれかに該当する者

- ① 日本の大学を外国人留学生として卒業した者, 及び2026年3月までに卒業見込みの者
- ② 外国において, 学校教育における16年の課程を修了した者, 及び2026年3月までに修了見込みの者
- ③ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について, 当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において, 修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することを含む。)により, 学士の学位に相当する学位を授与された者, 及び2026年3月までに授与される見込みの者
- ④ その他本学大学院が, 個別の入学資格審査により①と同等以上の学力があると認めた者(注2参照)

(注1) 本コースに出願を希望する者は, 全員必ず事前に本学教務企画課(Email:support_ml@m.auecc.aichi-edu.ac.jp)に相談をしてください。事前相談がない場合は, 出願書類を受理できません。

(注2) 出願資格④により出願する場合は, 入学資格の事前審査を行います。23ページの詳細を参照してください。

(2) 交流協定締結校特別選抜

上記(1)の条件に加え, 次の各号を全て満たす者

- ① 交流協定締結校に現在在籍する者又は卒業・修了後1年以内である者
- ② 学業成績が優秀で, 愛知教育大学大学院教育学研究科のアドミッションポリシーに合致しているとして, 所属長が責任を持って推薦する者

3. 標準修業年限

2年

4. 出願期間

2026年2月9日(月)から2月13日(金)まで

なお, 出願書類の提出は簡易書留郵便に限り, 最終日の17時までに入試課に必着するように注意してください。ただし, 2026年2月11日(水)以前の郵便局受付印(消印)のある「簡易書留」郵便に限り, 出願期間後に到着したもののでも受理します。

5. 出願手続

角形2号の封筒に必要事項を記入した**送付票**を貼り付け、次の出願書類を一括して**簡易書留郵便**で送付してください。

(1) 出 願 書 類

所定様式は本学Webサイトに掲載しているものをダウンロードし使用してください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/graduate/info/education/kyosyoku-yoko-latefeb.html>



名 称	該 当 者	摘 要
① 入学志願票 〔所定様式〕	全員	本学所定の様式に必要事項をもれなく記入すること。 志願票の所定枠に顔写真を剥がれないように貼り付けること。 (氏名は、在留カードに記載されるものを記入すること)
② 大学の卒業 (見込み) 証明書	全員	概ね1年以内に発行された 原本に限る。コピー不可。 日本国外の大学を卒業した者で、原本を提出できない者は、公的証明機関が証明した「写」を提出すること。公的証明機関の証明のない「写」の場合は、出願を受理しない。 中国(台湾, 香港, マカオを除く。)の大学等を卒業(見込み)の者は、各地「公証処」の発行する公証書(日本語訳含む)を必ず提出すること。
日本語訳	国外の大学を卒業 (見込み)の者	外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付すること。
③ 大学の成績 証明書	全員	概ね1年以内に発行された 原本に限る。コピー不可。 出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封されたものを提出すること。ただし、証明書自動発行機などで発行されたもので、複写防止用紙で作成された成績証明書は厳封する必要はないものとする。 日本国外の大学を卒業した者で、原本を提出できない者は、公的証明機関が証明した「写」を提出すること。公的証明機関の証明のない「写」の場合は、出願を受理しない。 中国(台湾, 香港, マカオを除く。)の大学等を卒業(見込み)の者は、各地「公証処」の発行する公証書(日本語訳含む)を必ず提出すること。
日本語訳	国外の大学を卒業 (見込み)の者	外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付すること。
④ 入学検定料 受付証明書 貼付票 ・写真票 ・受験票 〔所定様式〕	全員	※入学検定料(30,000円) 本学所定の様式に必要事項を記載し、出願期間最終日までに検定料を払い込み、切り離さずに提出すること。 写真票・受験票には、志願票と同一の顔写真を剥がれないように貼り付けること。 国費外国人留学生として本学に在籍している者及び本学の交流協定締結校であるカンボジア国立教育研究所から推薦された者は、入学検定料は不要。
⑤ 所属長の 推薦書	交流協定 締結校特別選抜 志願者	任意の様式を使用し、所属長又は指導教員等の署名を入れること。
⑥ 入学後の研究 計画の概要	全員	任意の様式で作成すること。日本語又は英語で記入し、氏名とコース名を必ず明記すること。(日本語の場合は1,200字程度でまとめること。)
⑦ これまでの 研究活動や 社会的活動等 の報告書	交流協定締結校特別 選抜志願者	任意の様式で作成すること。 日本語又は英語で記入し、氏名とコース名を必ず明記すること。論文等、他の参考資料もあれば提出すること。(社会的活動は、ボランティアを含む。)
⑧ 国費外国人 留学生証明書	国費留学生	出願時に国費留学生である者は、在学している大学発行の証明書を提出すること。
⑨ 受験票送付用 封筒	全員	長形3号の封筒を用意し、郵便番号・住所・氏名を記入し、410円分の切手(定形郵便物送料+速達料金)を貼り付けること。(※国内発送に限る。受験票発送時に不足が生じる場合は、原則、不足分受取人払いで送付する。)
⑩ 宛名票 〔所定様式〕	全員	本学所定の様式に、受験案内及び合格通知書等の受け取り先の郵便番号・住所・氏名を明記すること。(※国内発送に限る。)
⑪ 送付票 〔所定様式〕	全員	必要事項を記入し、出願書類一式を封入した封筒に貼り付けること。
⑫ 改姓証明書	証明書等に 記載の氏名が現在の氏 名と異なる者	任意の書式で作成すること。戸籍抄本等、改姓を証明する書類の提出は不要。

(2) 出願先

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学 入試課

(3) その他

(ア) 出願書類提出後は記入事項の変更を認めません。また、一度受理した出願書類は返還しません。

(イ) 提出書類に不備がある場合、出願を受理しないことがあります。

(4) 入学検定料の返還について

払い込まれた検定料は、次の場合を除き返還できません。

(ア) 出願書類を提出しなかった場合

(イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

(ウ) 出願書類が受理されなかった場合

＊検定料の返還請求方法

適宜の用紙(便箋等)に次の1～7を明記した「検定料返還請求書」を作成し、「振替払込請求書兼受領証」(ATMでの払込みの場合は「利用明細票」)を添付して、2026年2月27日(金)〔必着〕までに愛知教育大学入試課(〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1)へ郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

大学院入学検定料返還請求書

1 返還請求の理由

2 試験区分(教育学研究科教育支援高度化専攻日本型教育グローバルコース)

3 氏名(フリガナ)

4 現住所

5 連絡先電話番号

6 返還請求額

7 返還金振込先

・金融機関名(可能な限り、ゆうちょ銀行以外の金融機関)、支店名

・預金種別(当座・普通)、口座番号

・口座名義人(フリガナ)

・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

6. 受験票の交付

受験票は、受験案内を同封して試験日の約1週間前に発送します。

7. 選抜方法

入学者の選抜は、事前提出書類（入学後の研究計画の概要）、本学が行う学力検査、出身大学の長から提出される成績証明書（又はこれに代わるもの）等を総合して行います。なお、受験科目ごとの得点のいずれか及び総合点が本学の定める基準に達していない場合は、不合格とします。

- (1) 一般選抜の学力検査は、次の A 及び B の試験によって行い、交流協定締結校特別選抜の学力検査は、次の B の試験によって行います。

区分	試験内容
A 筆記試験（日本語による）	言語能力及び文章理解に関する筆記試験
B 口述試験（日本語による）	口述試験では、研究に必要な基礎知識を問います。 志望の分野により実技試験も含まれます。

※志願者のうち英語で研究指導を受ける者は、上記2つの試験を英語で受験することができます。
その場合は、「日本語による」を「英語による」に読み替えてください。

- (2) 学力検査場
愛知教育大学（詳細は受験案内で通知します）

- (3) 学力検査日時・試験時間割

区分	期日	筆記試験	口述試験
一般選抜	2026年 2月28日(土)	10:00 ~ 12:00	14:00 ~ *2
交流協定締結校 特別選抜	2026年 2月28日(土)		14:00 ~ *2

- *1 詳細は受験案内にて通知します。
 *2 志願者数等の状況により、口述試験の日時を変更することがあります。
 *3 災害等により学力検査の日時を変更する場合は、本学Webサイトにて詳細を公表します。
 *4 筆記試験のない受験者は、オンラインで試験を受けることができます。

- (4) 配点

選抜の種類	一般選抜	交流協定締結校 特別選抜
入学後の研究計画の概要	400	200
筆記試験	300	
これまでの研究活動や 社会的活動等の報告書		400
口述試験	300	400
総点	1,000	1,000

8. 合格者発表

日 時 2026年3月6日(金) 10時

発表方法 合格者の受験番号を愛知教育大学Webサイトに掲載します。
<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/entrance/grad.html>



※Webサイトのメンテナンスの都合上、10時を過ぎることがあります。
合格者には、合格通知書と入学手続関係書類を併せて即日発送します。
電話その他による可否の照会には一切応じません。

9. 入学手続

(1) 入学手続期間

日 時	場 所
2026年3月25日(水)～3月26日(木) 9:00～16:00(ただし、12:00～13:00を除く)	愛知教育大学

※ 郵送にて手続の場合(簡易書留郵便), 2026年3月25日(水)までに学生支援課へ必着。

上記期間内に手続をしなかった場合は、入学する意思がないものとして取り扱います。

※ 入学手続期間までに在留資格が消滅する者は、入試課にお問い合わせください。

(2) 納入金(入学料・入学時諸費用・授業料)

納入金については、合格者宛てに送付する「入学手続要項」にて案内します。大学指定の払込書にてゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で納入してください。なお、国費外国人留学生及び本学の交流協定締結校であるカンボジア国立教育研究所から推薦された者を除きます。

入 学 料	282,000円
入学時諸費用	32,430円(予定)
授 業 料	半期分 267,900円
	(年額 535,800円)

なお、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学料、新入学時諸費用及び新授業料を適用します。

(注1)入学料及び入学時諸費用は、入学手続時までに必ず納入してください。

(注2)入学時諸費用は、通学中や実習などの活動中の事故等に係る保険料、教育研究活動、大学行事、就職、課外活動及び福利厚生への支援など様々な学生支援事業のための費用で、入学時のみの費用です。

(注3)授業料の納入については、入学手続要項において納入方法を指示します。

(注4)入学手続完了者が、その後入学を辞退しても、納入済の入学料は返還しません。

(注5)入学料・授業料の免除及び経済的支援については下記の愛知教育大学Webサイトを参照してください。

【経済支援制度について】

https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/info/to_everybody.html



10. 過去の入試問題の閲覧, 入試結果について

愛知教育大学入試課窓口では過去2年間の入試問題を閲覧することができます。(附属図書館では公開していません。)

また, 本学Webサイトにて, 過去1年間の入試問題及び入試結果(志願者数ほか)を閲覧することができます。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/entrance/grad.html>



11. 入試情報の開示

入学試験の受験者に係る個人情報を, 受験者本人から請求があった場合に限り開示します。開示を希望する方は, 下記の愛知教育大学Webサイトを参照してください。

【個人情報の開示・訂正・利用停止請求 <手続方法>】

<https://www.aichi-edu.ac.jp/policy/procedure.html>



12. 安全保障輸出管理

愛知教育大学では, 「外国為替及び外国貿易法」に基づき, 「国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程」を定め, 外国人留学生の受入に際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は, 希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので, 注意してください。

【参考】

愛知教育大学Webサイト「国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程」

https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/kitei_230308.pdf



経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>



17ページ2.出願資格(1)④による入学資格の事前審査について

本出願資格による志願者は、入学資格の事前審査を行いますので、審査書類を2026年2月3日(火)までに入試課へ郵送してください。

1 事前審査提出書類

提出書類の詳細については、入試課にお問い合わせください。

2 その他

(1) 事前審査の結果については、出願期間開始日までに本人宛てに通知します。

なお、入学資格を認められた者が受験を希望する場合は、18ページ **5. 出願手続** (1)出願書類による書類を出願期間内に提出してください。

(2) 本出願資格により入学試験を受験し合格と判定された者が、2026年3月までに出席要件を満たさない場合は、入学を許可しません。

(3) 本出願資格により入学する者は、在籍している大学の学部を退学することとなります。

したがって、国家試験等の受験資格で大学を卒業することが条件となっているものについては、受験資格を失うことになるので注意してください。